

(お知らせ)

26. 12. 18  
防 衛 省

### 米国政府によるアジア太平洋地域のF-35整備拠点に関する発表について

米国政府は、12月17日(水)(米国東部時間)、アジア太平洋地域におけるF-35の整備拠点(リージョナル・デポ)について、

- ・ 機体の整備拠点については、2018年初期までに日本及びオーストラリアに設置すること
- ・ エンジンの整備拠点については、2018年初期までにオーストラリアに設置し、追加的な所要に対応するため3～5年後に日本にも設置することを決定した旨公表しました。

日本における機体のリージョナル・デポについては三菱重工業株式会社(愛知県:小牧南工場)、エンジンのリージョナル・デポについては株式会社IHI(東京都:瑞穂工場)を予定しています。

なお、リージョナル・デポにおける具体的な整備の対象機や整備の作業内容等については、今後米国政府等と調整を進めてまいります。

(参考)リージョナル・デポについて

- リージョナル・デポにおいては、F-35の機体・エンジンの重整備(分解・検査を要する整備作業等)を実施する予定。
- 米国政府は、F-35について全世界的な運用が予想されるため、「北米・欧州・アジア太平洋」地域において、機体・エンジンを中心とした整備拠点を設置する構想。

(問い合わせ先)

経理装備局航空機課

課 長 池松 英浩

先任部員 小松 克行

電話: 03-3268-3111 (代)

(内線) 21040